

2024年7月31日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ボルテックスに「SDG s 推進支援シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：福留 朗裕）は、株式会社ボルテックス（代表取締役社長 兼 CEO：宮沢 文彦）に「SDG s 推進支援シンジケーション」を実施いたしました。

「SDG s 推進支援シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社ボルテックスについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 「区分所有オフィス」の分譲事業による中小企業等の資産形成、環境不動産認証取得を通じた建物のエネルギー効率改善

<p align="center">目標 8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。</p>
<p align="center">目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> 	<p>7.2 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。</p>

- ② 在籍型出向「V ターンシップ事業」によるリスキリングの促進や企業の活性化

<p align="center">目標 4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p>
<p align="center">目標 8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。</p>

三井住友銀行では、「SDGs 推進支援シンジケーション」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。

◆ SDGs 推進に向けた事業



8.3

■区分所有オフィス®

都心のオフィスビルを1フロアごとに購入できるようにした商品。一棟まるごと購入することが一般的だったオフィスビルを区分化することにより従来よりも低単価から購入でき、管理・運用を一貫してボルテックスがサポートすることで、中小企業でも貸事務所業に参入できるようになりました。賃料収入を第二の収入源として本業のイノベーションや雇用創出などに挑戦している中小企業の成長を支えています。

■Vシェア®

区分化した1フロアをさらに小口化することで、これまで中小企業では投資が難しかった都心プライムエリアのビルに、資産状況にあわせて500万円（1口を100万円単位として5口以上）から出資できるようになりました。

7.2

■「VORT®」シリーズの環境への取組み

ボルテックスが展開する「VORT」シリーズおよび管理物件は、都心5区を中心に180棟を超えており、建築環境総合性能評価システムCASBEEの取得実績は3棟(*1)、建築物省エネルギー性能表示制度BELS認証を取得した実績は66棟(*2)、ZEB Readyは2棟(*3)に上っています。優れた環境性能を有する不動産の形成により、CO2排出量の削減等、環境や社会への配慮に努めています。

*1,2,3:2024年6月末現在



4.4.8.2

■V ターンシップ®

在籍型出向サービス。送出企業の従業員として籍を残したまま、決められた期間受入企業で就労します。

社員は他社に出向くことでさまざまな業界やマーケットを知ることができ、新しい視点でサービスや経営課題解決に挑む人材の育成に役立ちます。また、他社を知ることで改めて自社について見つめ直すことで成長のキッカケやブレイクスルーをつかむことが可能になります。

将来の幹部候補の育成や市場開拓・地方進出の実現、企業間の強固な関係構築や社員の定着率アップ、組織の活性化に繋がっています。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上